

基本目標 1：産業の活性化と働きやすい環境づくり

■現状と課題

- ・2006 年（平成 18 年）から 2012 年（平成 24 年）までの 6 年間で、事業者数及び従業員数がともに減少している。一方で、埼玉県全体の従業員数については増加している【人口ビジョン頁 17 図 22】。
- ・従業員数 10～19 人程度のチェーン店等に相当する商店は増加傾向にあるものの、10 人未満の小規模な商店は減少傾向にあり、商店街では空き店舗も散見される【商業統計調査】。
- ・子育て期にあたる 30～40 歳代の女性の労働力率（M 字カーブ）が、埼玉県平均よりも低い値である【人口ビジョン頁 18 図 24】。
- ・子育て中は子育てを中心に短時間で働きたいというニーズが高い【定住子育て意識調査頁 28】。
- ・地域における雇用の確保について、推進していく必要がある【人口ビジョン頁 17・18】【定住子育て意識調査頁 10～12・25～28】【転入・転出アンケート頁 10・20】。

■目標

朝霞市の産業の活性化、雇用創出を図り、働きながら生活も充実させたい市民の希望を叶え、暮らしやすいまちづくりを目指す。

取組方針

（１）市内産業の活性化と雇用創出

既存産業の活性化とともに新たな起業や事業者の誘致を図り、朝霞市における産業振興、雇用創出を実現する。

（２）市民の仕事と生活の両立を実現するまちづくり

労働意欲のある市民への支援を充実させ、勤労者が仕事と生活のバランスのとれた、暮らしやすいまちづくりを目指す。

数値目標	現状値	目標値（H31）
就業の場がないことによる転出の理由率	2.4%	1.7%
子育てしながらの短時間就労を理想としている率	40.7% (H26)	50.0%
仕事と家庭生活を両立できる就業環境の促進への満足度	2.0% (H26)	3.0%

■具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指標（KPI）

（１）市内産業の活性化と雇用創出

①産業の育成と支援			
・事業者が起業、創業に関する支援が受けられるまちを目指す。 ・市民と事業者及び事業者同士の交流が活発に行われ、市の特性を活かした産業を育てる。			
重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値（H31）	備考
あさか産業フェア参加事業所数	63 事業所 (H26)	68 事業所	産業振興課資料
市の支援により起業した件数 (累計)	49 件 (H26)	157 件	産業振興課資料
主な取組			
市民と事業者の連携及び交流の促進 ・あさか産業フェアや商工会、商店会が実施する地域活性化イベントを支援し、市民と事業者との連携及び交流を促進する。			
地域に密着した産業振興の支援 ・商工会をはじめとした関係経済団体や金融機関などと連携し、NPOなどの新たな形態の事業や地域課題の解決に取り組むコミュニティビジネスなど、地域に密着した産業の振興を支援する。			
起業を目指す方への支援体制の充実 ・起業家育成相談や起業家育成支援セミナーを開催するほか、国の認定を受けた創業支援事業計画に基づき、市・商工会・金融機関が連携し、継続的に支援する。			
起業を目指す方の育成と支援 ・起業家育成相談や起業家育成支援セミナーを開催するほか、市・商工会・金融機関などの関係機関が連携し、起業を目指す方や起業後間もない方を育成、支援する。			
新たな産業創出の支援 ・NPOなどの新たな形態の事業や地域課題の解決に取り組むコミュニティビジネスなど、市民の経験や能力を活かした新たな産業の創出を支援する。			

②産業の活性化			
・商業、工業に農業を含めた市内の事業者が様々な経営支援サービスを受けられ、経営が安定し、市内の産業の活性化を図る。			
重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値（H31）	備考
商店街活性化推進事業実施回数	38 回 (H26)	45 回	産業振興課資料
中小企業融資実行件数	51 件 (H26)	56 件	産業振興課資料
主な取組			
商店街の活性化の支援 ・商店街を地域コミュニティの核と位置付け、商店街の賑わいを創出、維持していくことにより、商店街の活性化を支援する。			
既存工業の活性化の支援 ・市内の工業経営を支援するため、中小企業融資制度の利用促進のほか、市・商工会・金融機関などが連携した経営支援サービスを検討する。			
相談機能充実・人材育成と組織強化の支援 ・事業者が朝霞市で事業活動するメリットや魅力について情報を収集・発掘するほか、商工会・金融機関などと連携し、市内で継続して事業活動ができるよう、情報収集や相談体制の充実に努める。 ・後継者や若手経営者の育成を支援する。			
中小企業への支援 ・中小企業の経営の安定を図るため、中小企業融資制度の利用促進や利子補給補助など実施する。			
都市農業振興の支援 ・農業生産の安定化、効率化に向けた支援と農業を支える担い手の支援、農業に親しむ取組を推進する。			

③勤労者支援の充実			
- 勤労者である市民が身近な場所で相談が受けられる環境の充実を図る。 - 市内事業者が地域から人材を雇用でき、就職を希望する市民がきめ細かな支援の充実を図る。			
重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値（H31）	備考
労働・社会保険相談件数	13 件 (H26)	21 件	産業振興課資料
就職支援セミナー参加者の就職率	19% (H26)	23%	産業振興課資料
主な取組			
勤労者の働きやすい環境づくりの推進 - 労働や雇用問題、社会保険などについて、社会保険労務士による相談事業を実施するほか、国や県の関係機関と連携し、各種相談事業の周知を図る。 - どのような雇用形態であっても、市民が労働関係法令を遵守した環境のもとで働くことができるよう、関係機関と連携し、市民及び経営者に対して労働関係法令の内容や相談事業の周知に努める。			
地域での雇用の促進と支援 朝霞地区雇用対策協議会などの関係機関と連携し、合同就職面接会の開催などを通じて、地域での雇用の促進に努めるほか、就職支援セミナーや就職支援相談を実施することにより、就職を希望する方へのきめ細かな支援を図る。			

(2) 市民の仕事と生活の両立を実現するまちづくり

①勤労者支援と保育サービスの充実			
・労働に関する基本的事項の周知と啓発活動及び相談活動の充実を図る。 ・待機児童を解消するため、保育園、小規模保育施設等の拡充を図る。 ・放課後児童クラブの入所保留者を解消するために、放課後児童クラブの拡充を図る ・多様化する保育ニーズに対応するために、幼稚園や保育園の協力もと、保育時間の延長や休日保育の拡充を図る。 ・保護者の急病等突発的な保育ニーズに対応するため、一時保育事業や、病児保育事業の提供体制の確保に努める。			
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	目標値 (H31)	備考
労働・社会保険相談件数	13 件 (H26)	21 件	産業振興課資料
待機児童数 ※基本目標 3- (1) -①	47 人 (H26)	0 人	保育課資料
放課後児童クラブ入所保留者数 ※基本目標 3- (1) -②	141 人 (H26)	0 人	保育課資料
延長保育定員 (1 か月あたり) ※基本目標 3- (1) -③	2,788 人 (H26)	2,943 人	保育課資料
病児保育定員 (1 日あたり) ※基本目標 3- (1) -③	0 人 (H26)	5 人	保育課資料
主な取組			
労働関係法令の啓発と相談事業の周知 ・どのような雇用形態であっても、市民が労働関係法令を遵守し、ライフケアバランスがとれた環境の下で、働くことができるよう、関係機関と連携し、市民及び経営者に対して、労働関係法令や相談事業について周知する。			
保育園事業 ※基本目標 3- (1) -① ・仕事や疾病などで、家庭において子どもを保育できない場合に、保護者に代わって保育園や小規模保育事業での保育を行う。 ・待機児童解消のため、保育施設の整備を進める。			
放課後児童クラブ事業 ※基本目標 3- (1) -② ・仕事などで昼間、保護者のいない子どもを対象に、主に放課後、安全で楽しく過ごせるよう保育を行う。 ・入所保留者解消のため、既存の放課後児童クラブの定員拡充を図るとともに、教室や民間事業者の活用などを検討する。			
延長保育事業 ※基本目標 3- (1) -③ ・保護者の就労形態の多様化に対応するため、通常の開所時間を超えて保育の提供体制の確保に努める。			

休日保育事業 ※基本目標３－（１）－③ ・日曜、祝日などに保育園において保育を行うため、提供体制の確保に努める。
一時保育事業 ※基本目標３－（１）－③ ・保護者の病気などの理由により一時的に保育を行うため、提供体制の確保に努める。
病児保育事業 ※基本目標３－（１）－③ ・疾病時及び回復期にある児童で、保護者の仕事等の理由により家庭で保育されることが困難な場合に一時的に保育を行うため、提供体制の確保に努める。
シルバー人材センターの支援 ※基本目標４－（２）－① ・働く意欲のある高齢者の就業の場を確保するため、働く意欲のある高齢者の能力や経験を活用できる就業の場を確保する事業を実施する公益社団法人朝霞地区シルバー人材センターの運営を支援する。